

31

ナルニア国物語 2

ライオンと魔女と衣装だんす

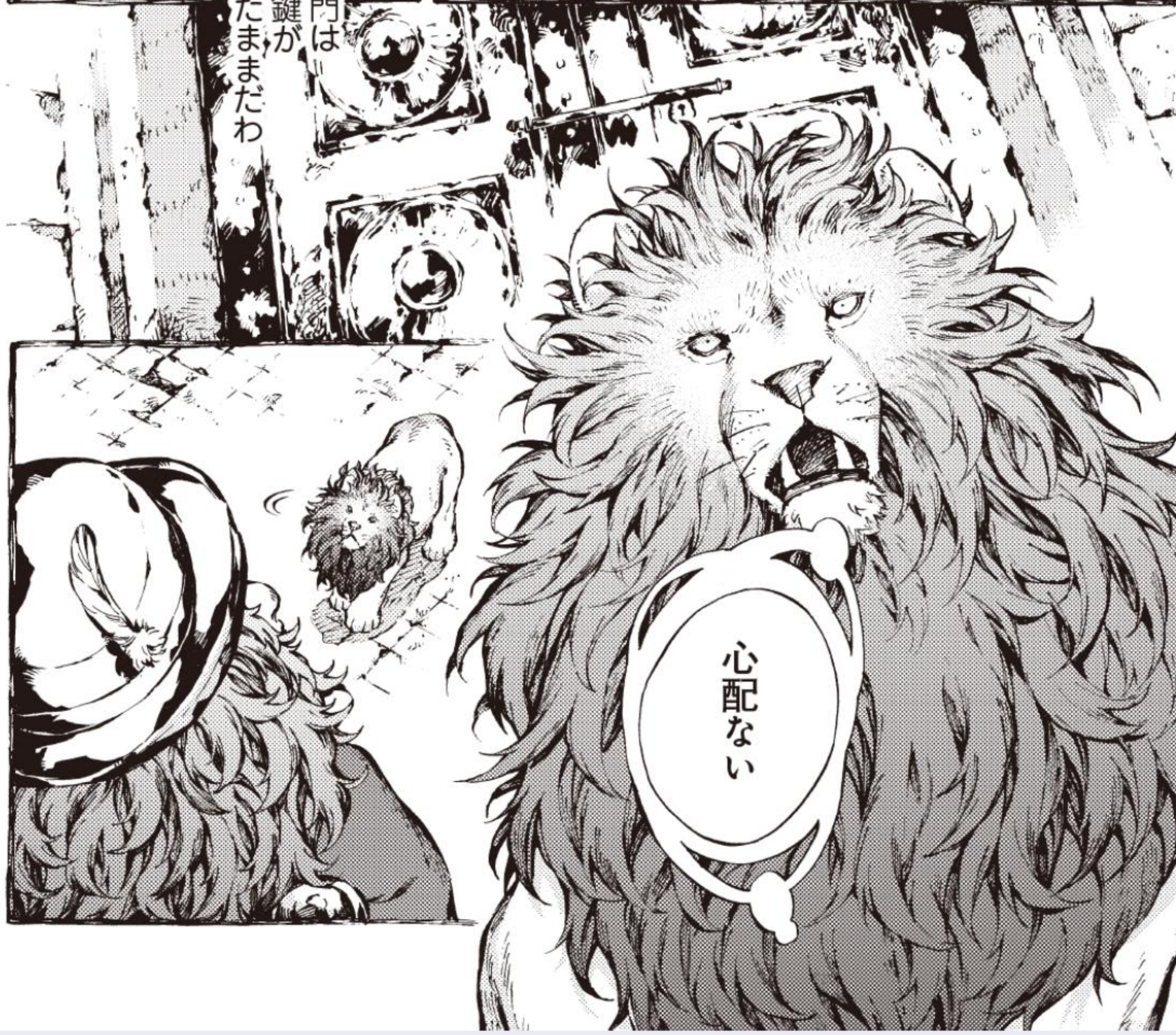
C・S・ルイス 土屋京子・訳 玉樹庵・画

(光文社古典新訳文庫刊)

第31話 石像たち、よみがえる（後編）

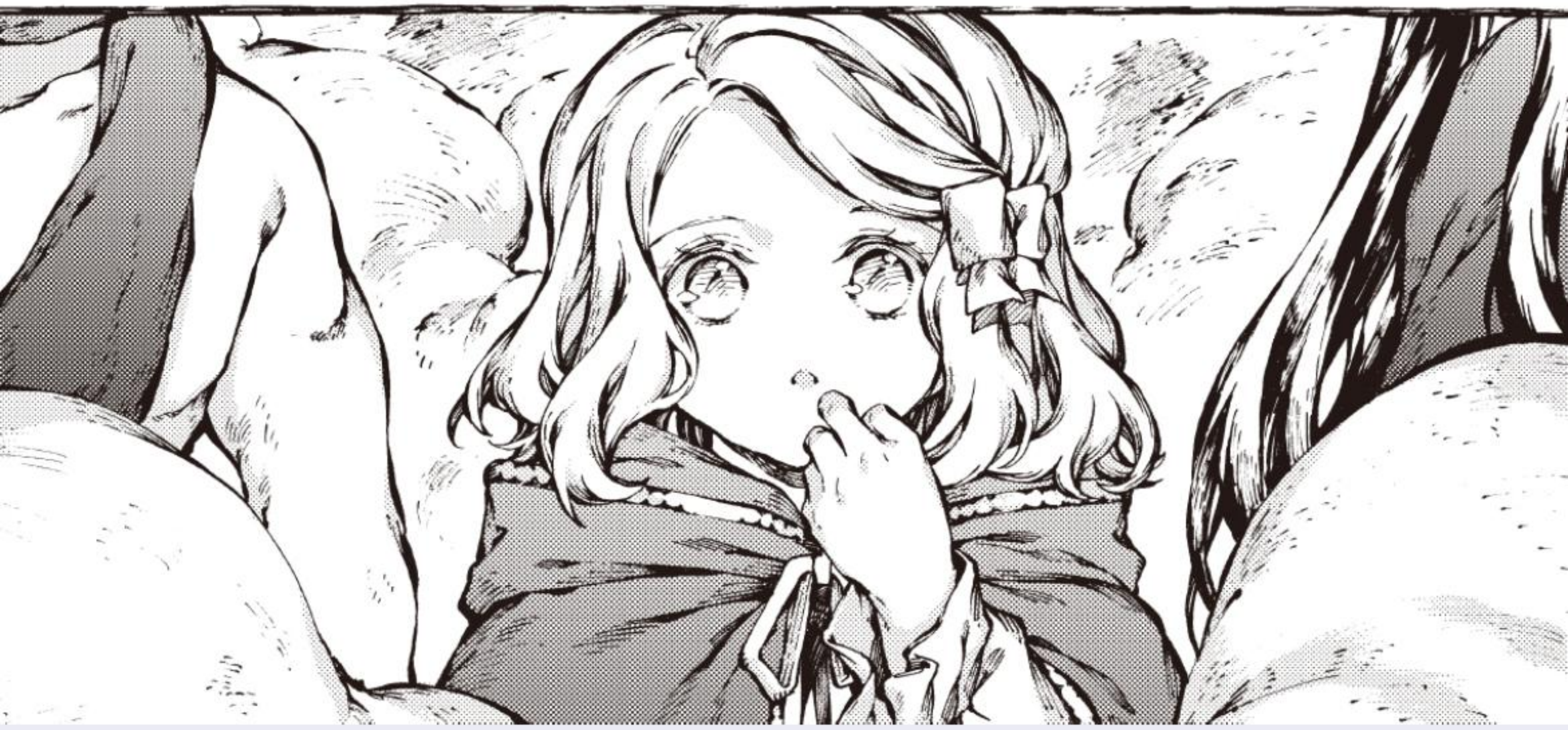


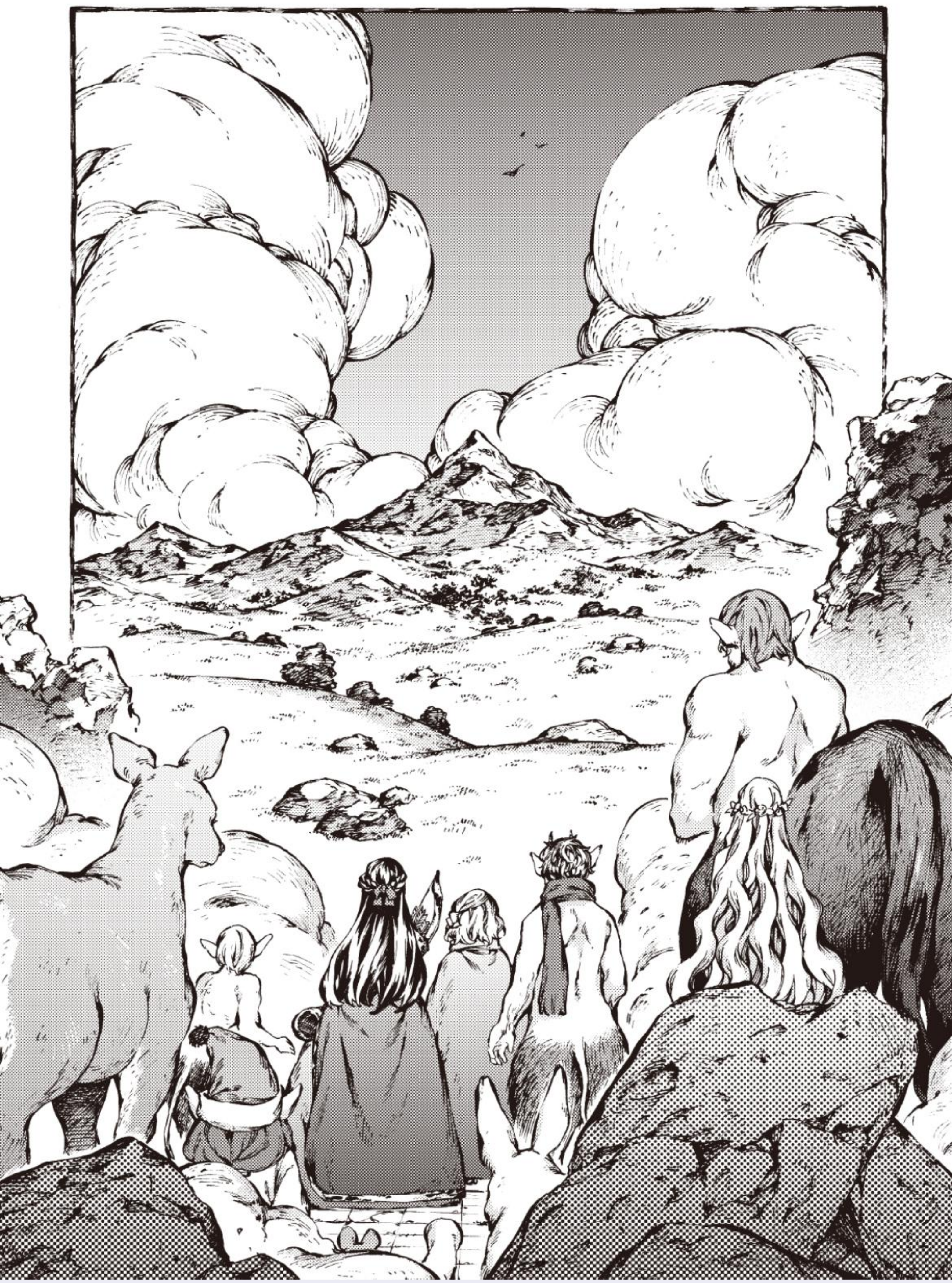
それにしても

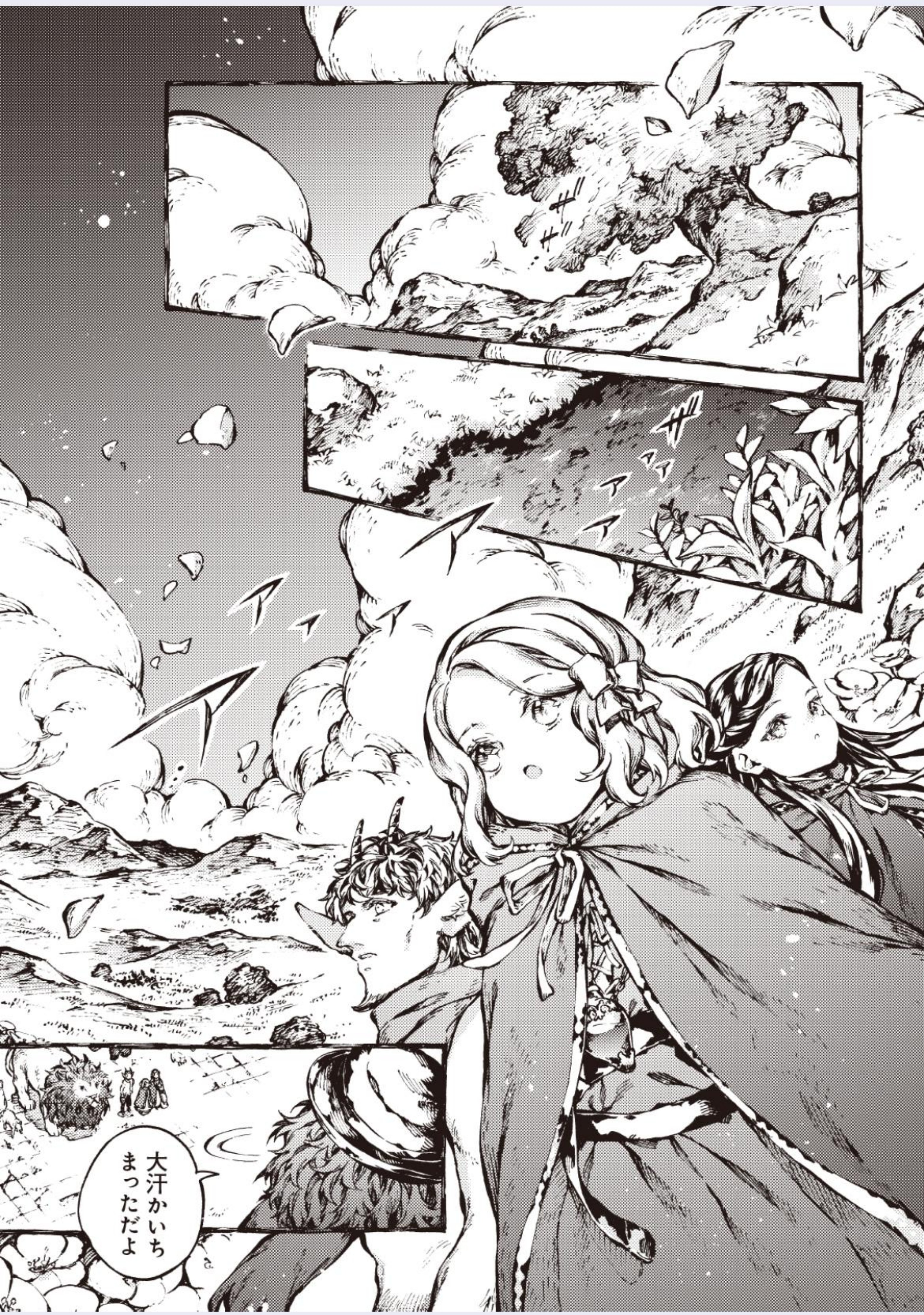






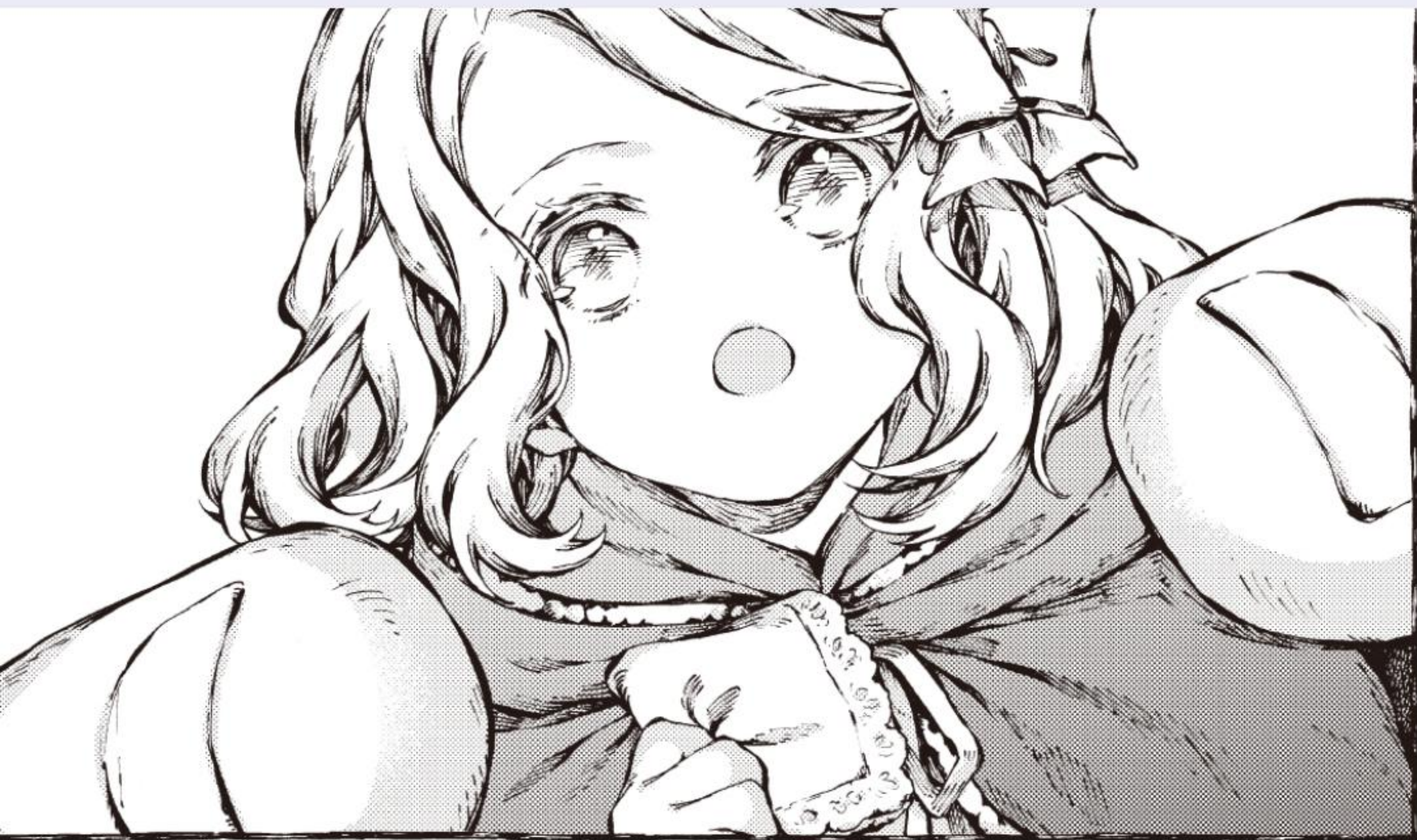


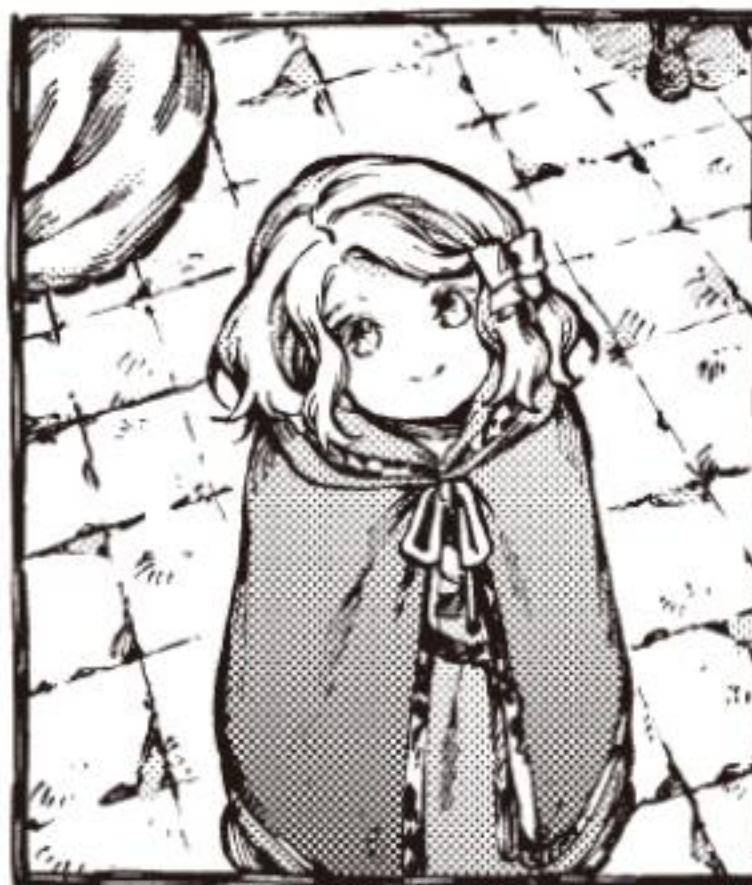
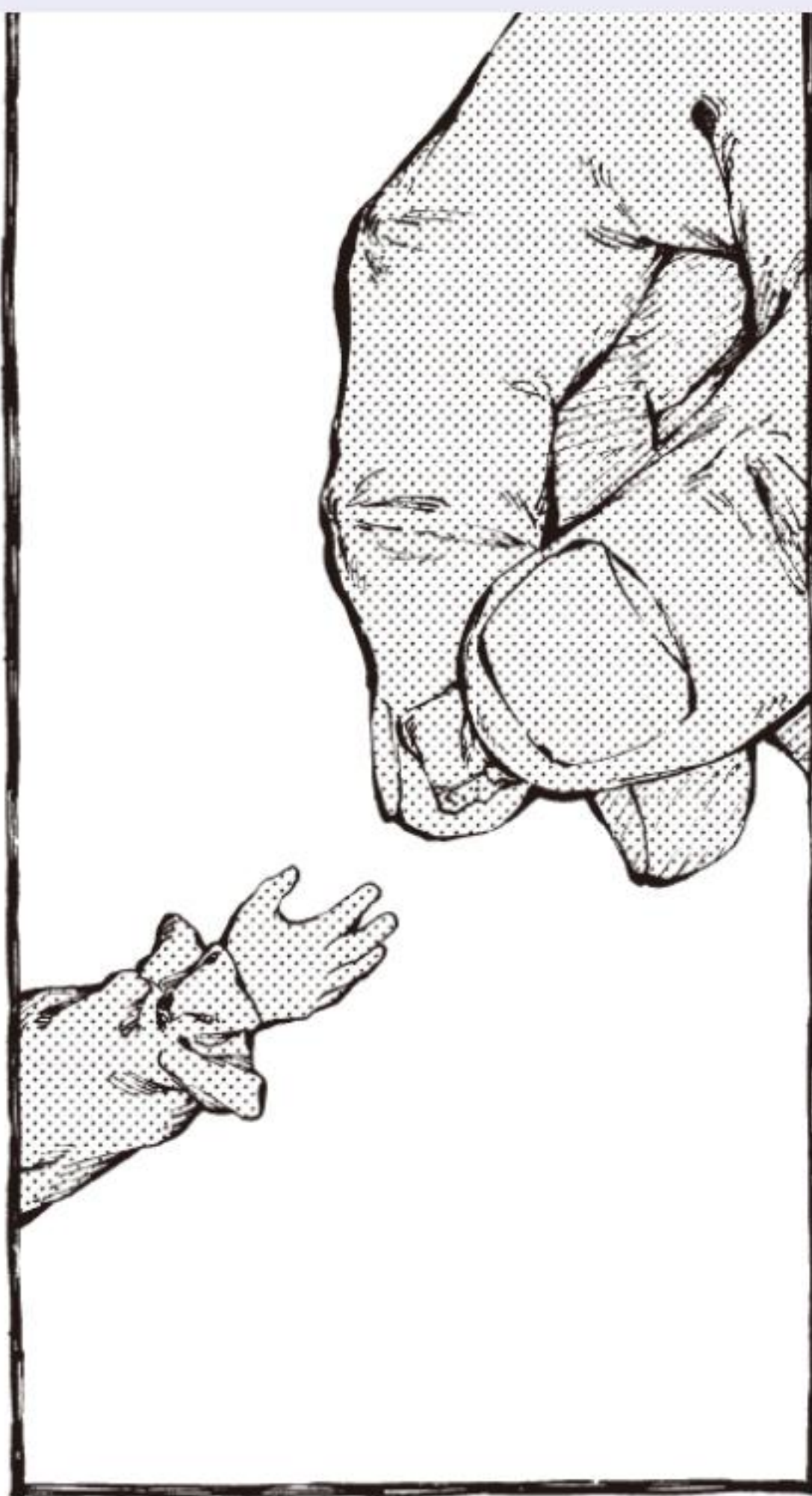




大汗かいち
まっただよ











ナルニアの
巨人族のなかでも

とくにりっぱな
家柄なんですよ



バフィン一族は
むかしから
善人ぞろいです

まあ

頭はさほど
よくは
ありません
けどね

頭のいい
巨人なんて
聞いたこと
ありません
からね



でも
名門では
あります

伝統と
格式のある

そうでなけりや

魔女に石に
されるはずが
ありませんからね



われわれの
仕事は

まだ
終わった
わけではない

きょうのうちに
魔女を打ち負かす
つもりならば

ただちに
戦いの場へ
赴かねばならない



では

よろしいか!



そして
戦いに
加勢する!

そうですね!

もちろん

そのとおりだ

ついて
歩くのが
難しい者

足の速い者

——すなわち
ライオン

ユニコーン

ケンタウロス

——すなわち
子どもたち

小さな
動物たち——は

ドワーフたち

馬

巨人

そして
ワシ——の
背に乗ること

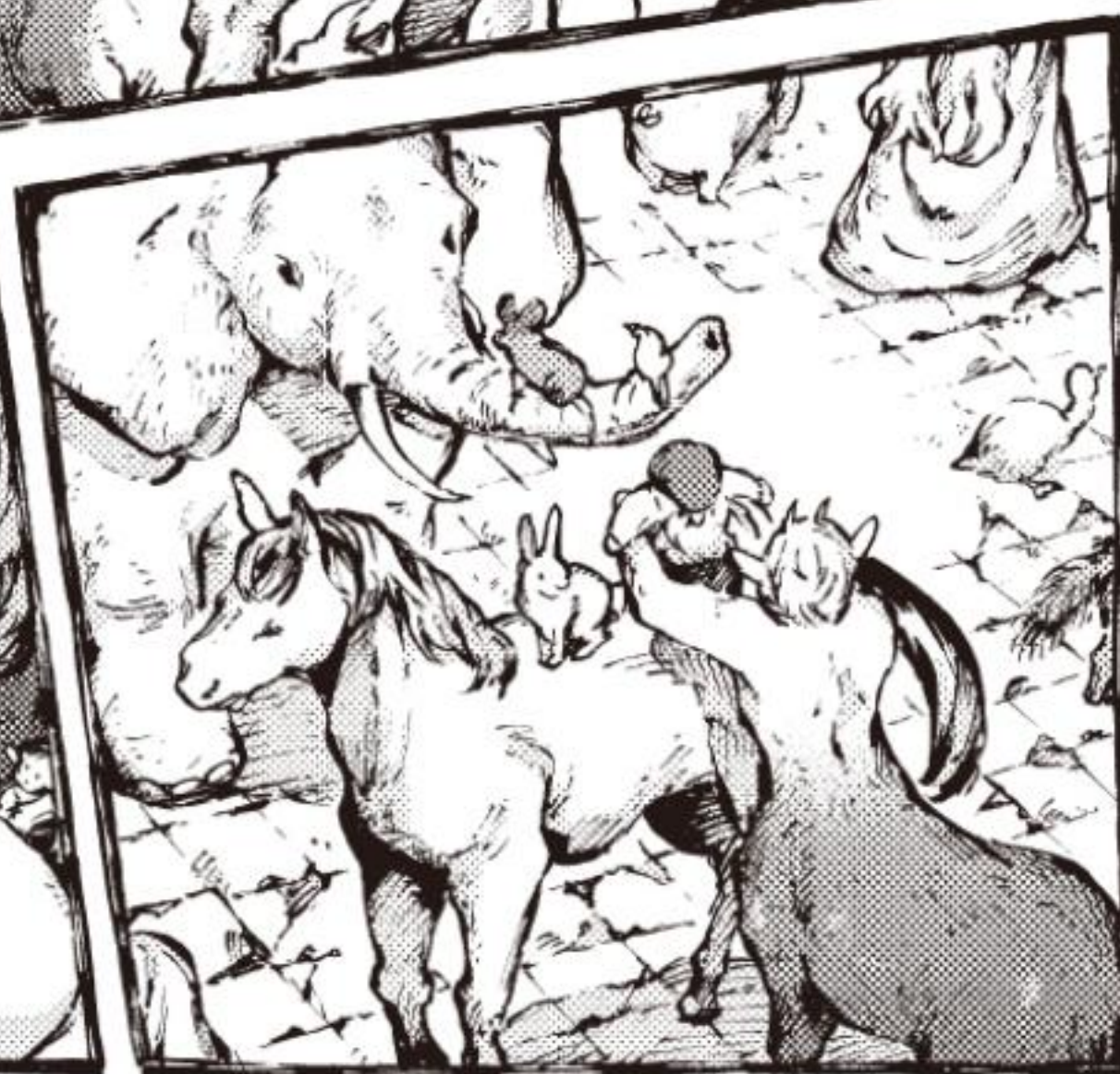
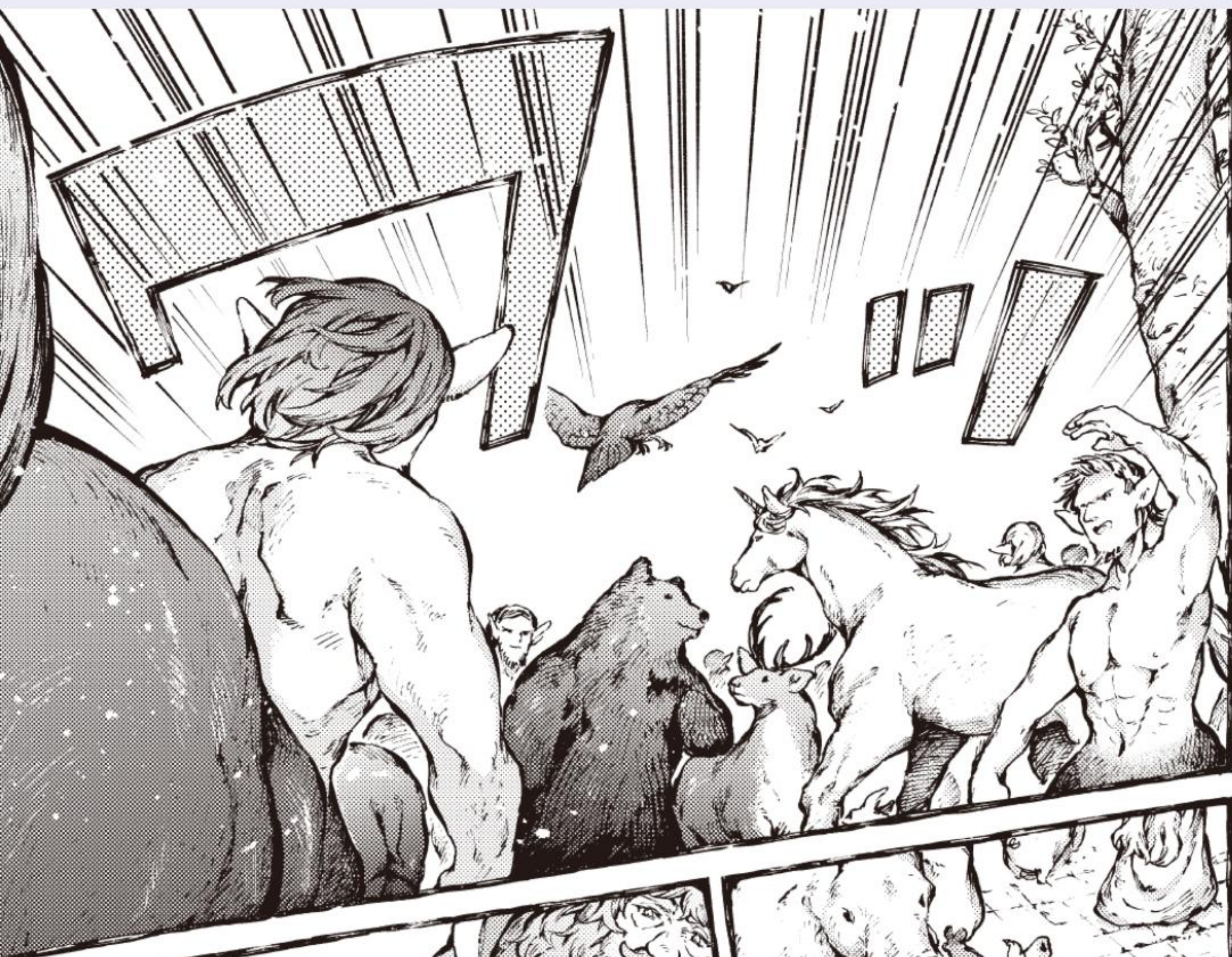
鼻のきく
者たちは

われわれ
ライオンとともに
先頭に立ち

戦いの場を
嗅ぎあてなくては
ならぬ

急いで
整列せよ





アスランの
言葉を
聞いたかい？





『われわれ
ライオン』って
言ったんだぜ



偉ぶった
とこがなくて

つんけん
してなくてさ

『われわれ
ライオン』
だってよ



それって

アスランと
おれのこと
なんだよ



おれは
好きなんだよね

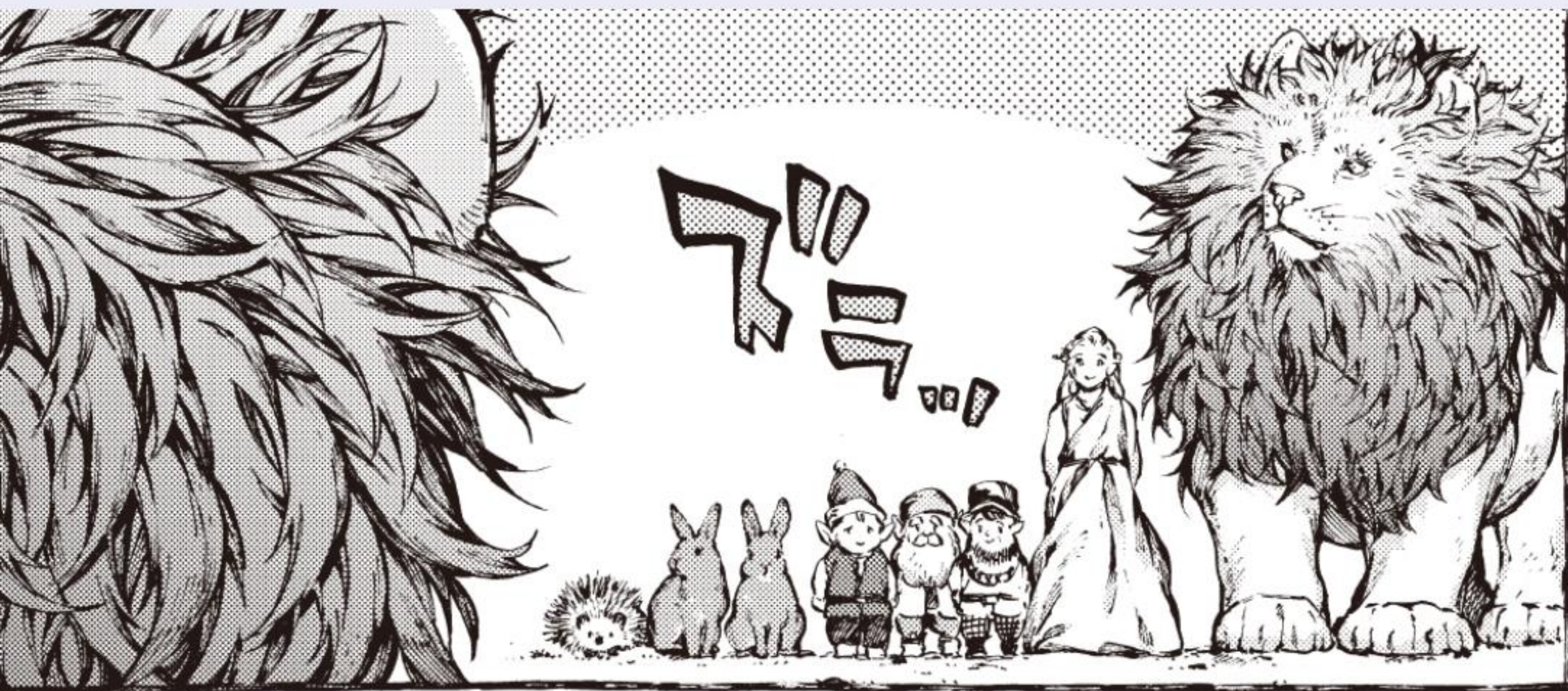
アスランの
そういうところが

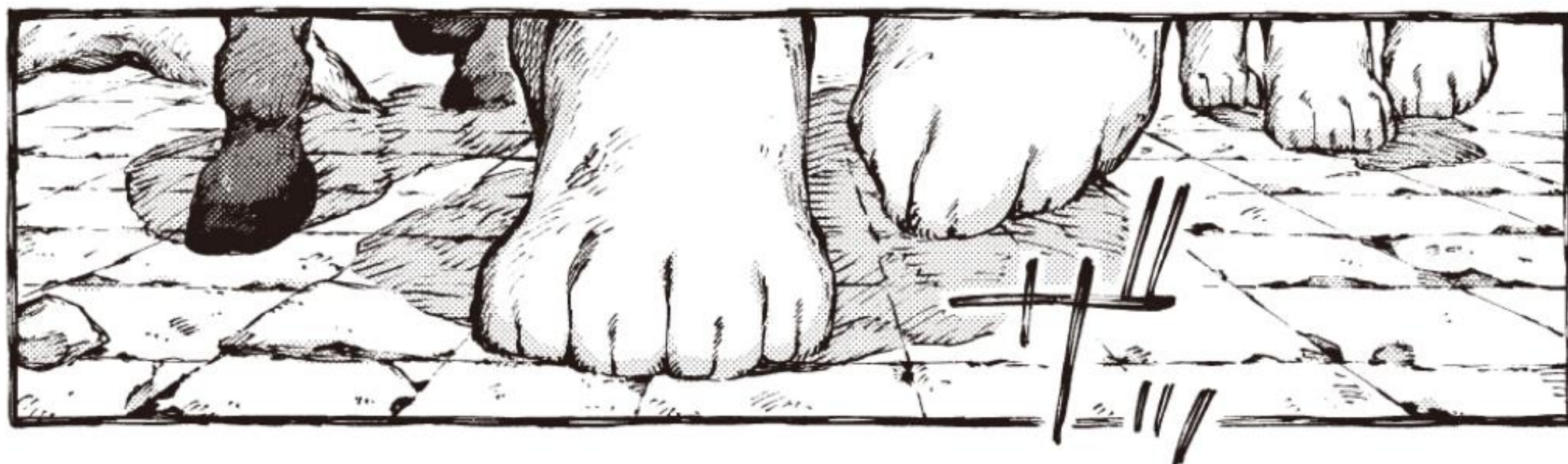
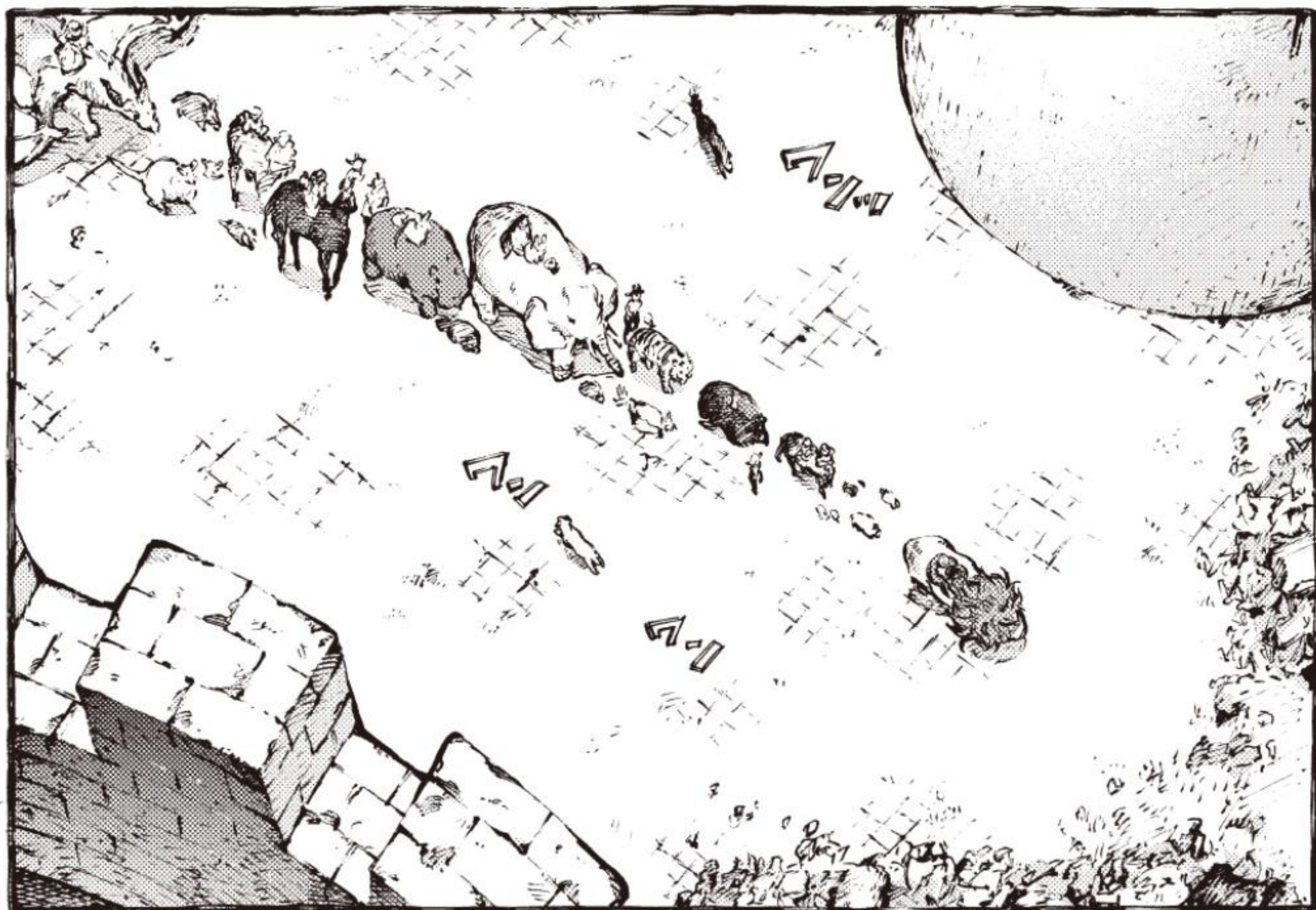


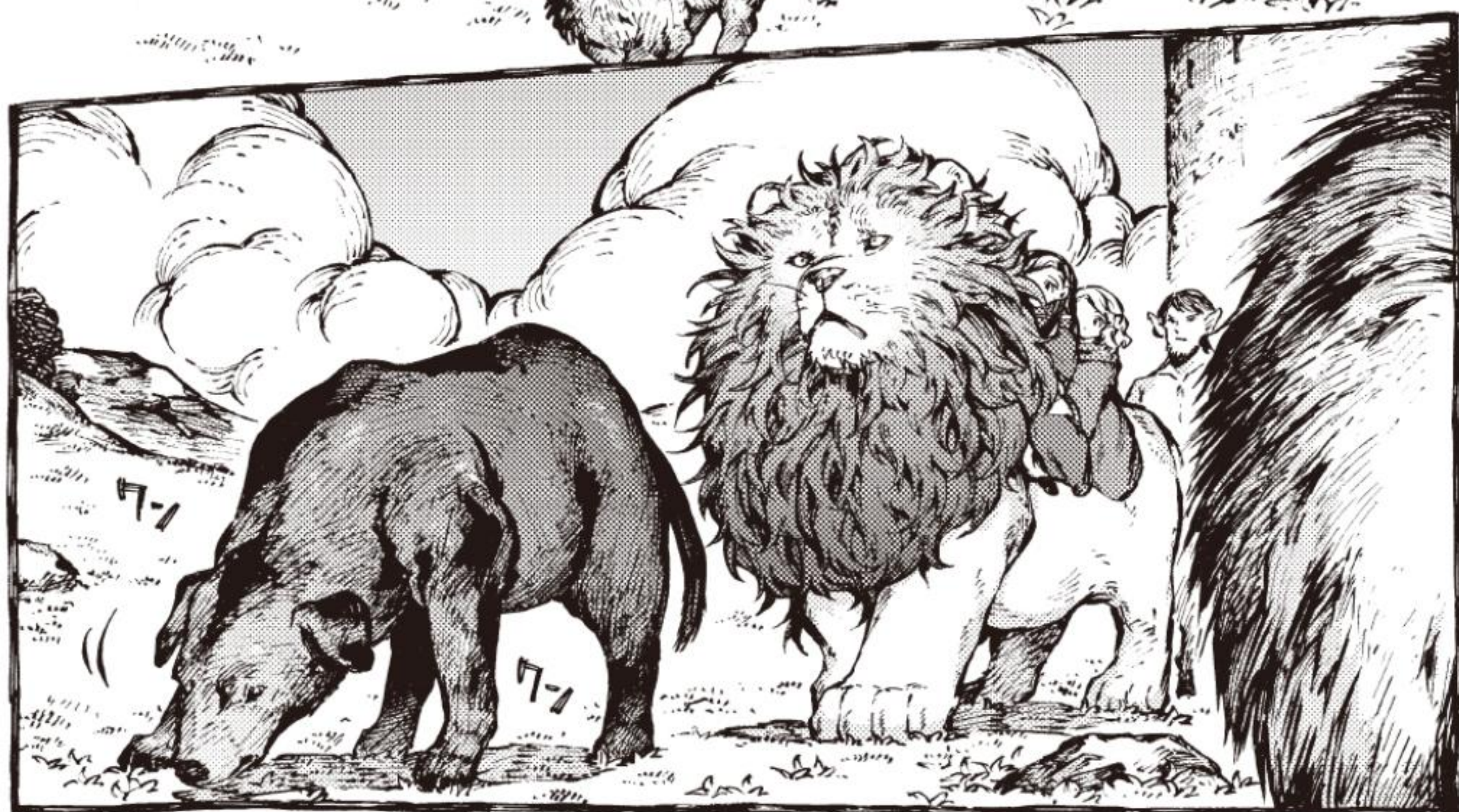
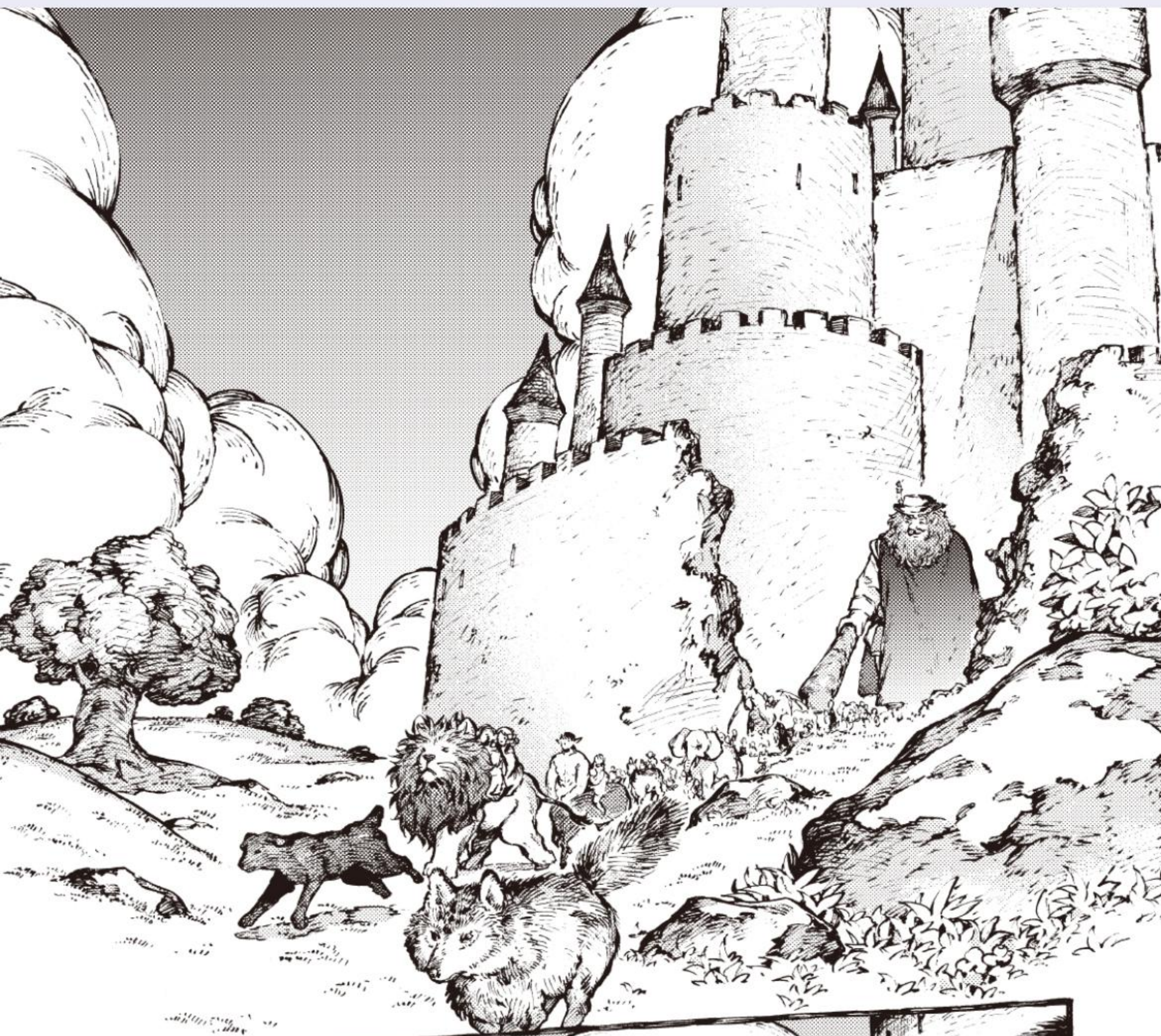
われわれっ
てのは

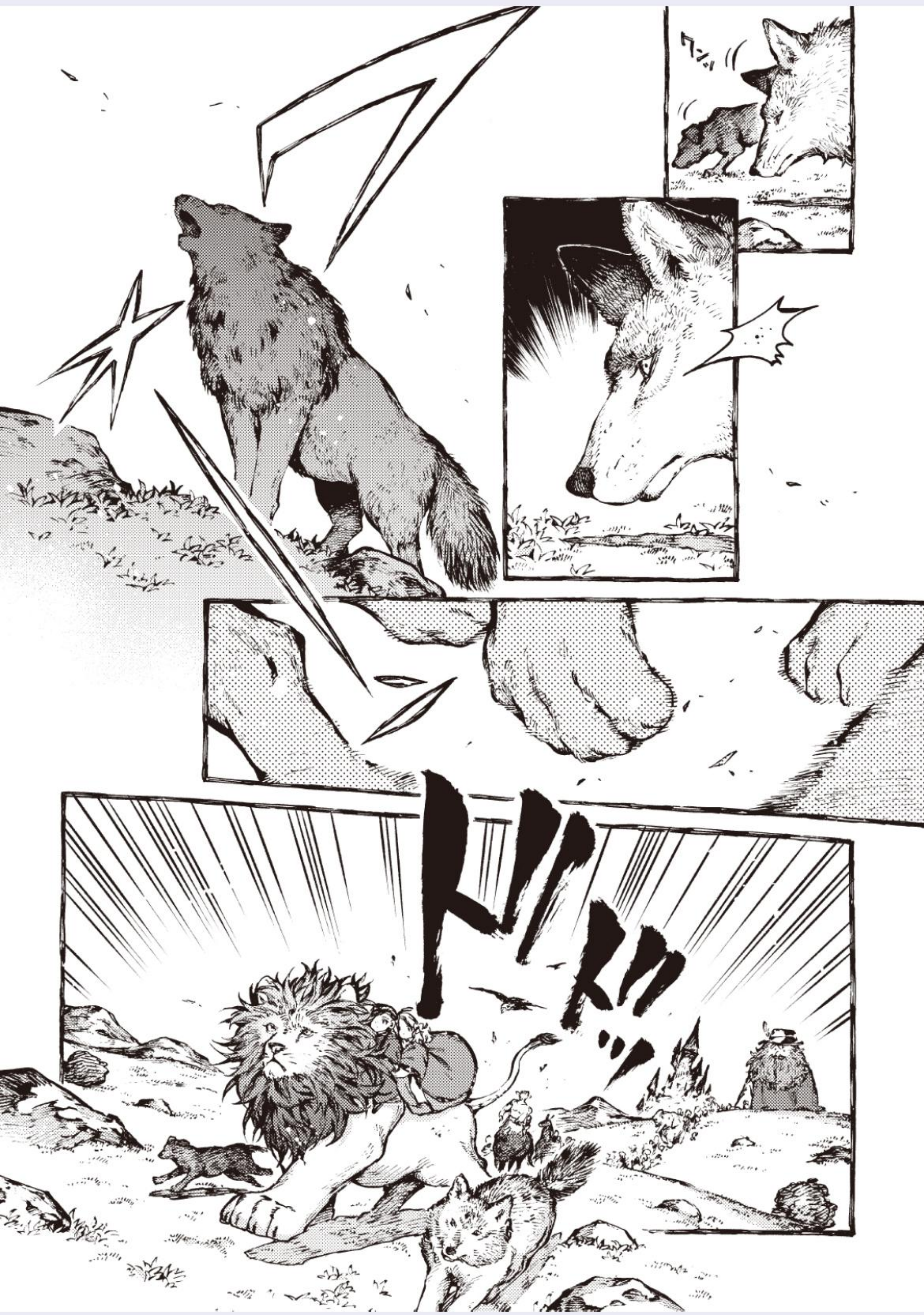
アスランと
おれのことさ

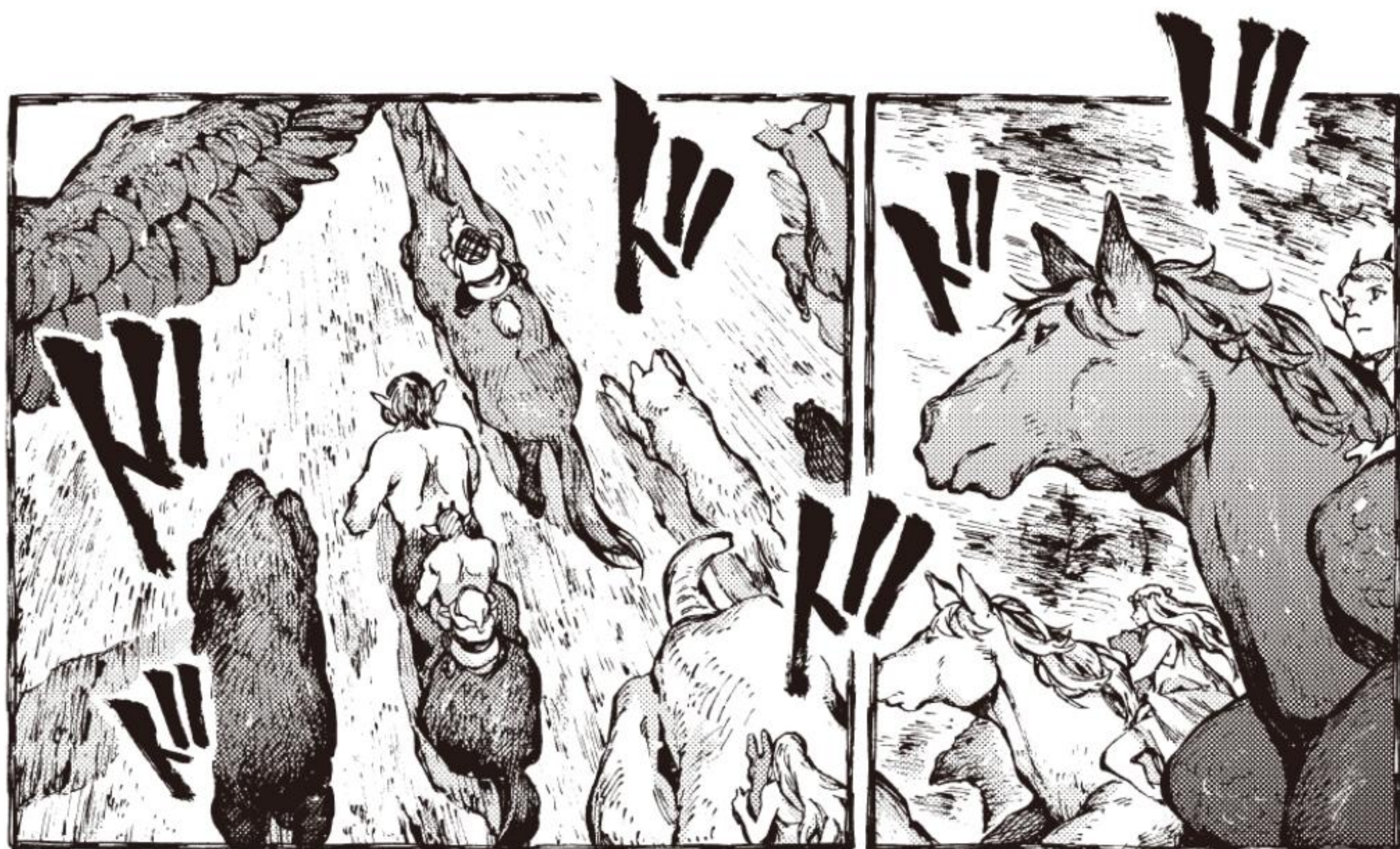
『われわれ
ライオン』と
きたもんだ



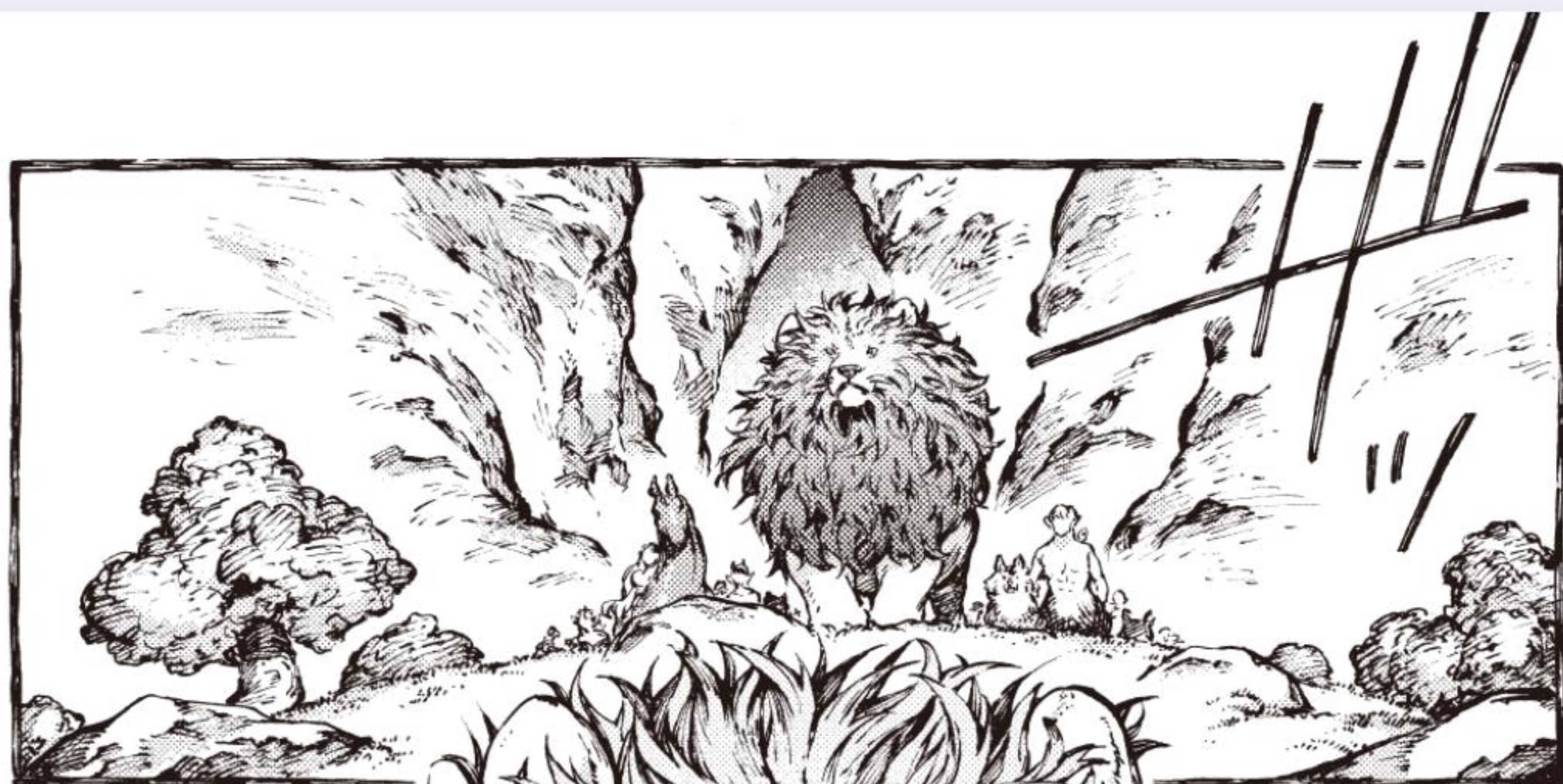




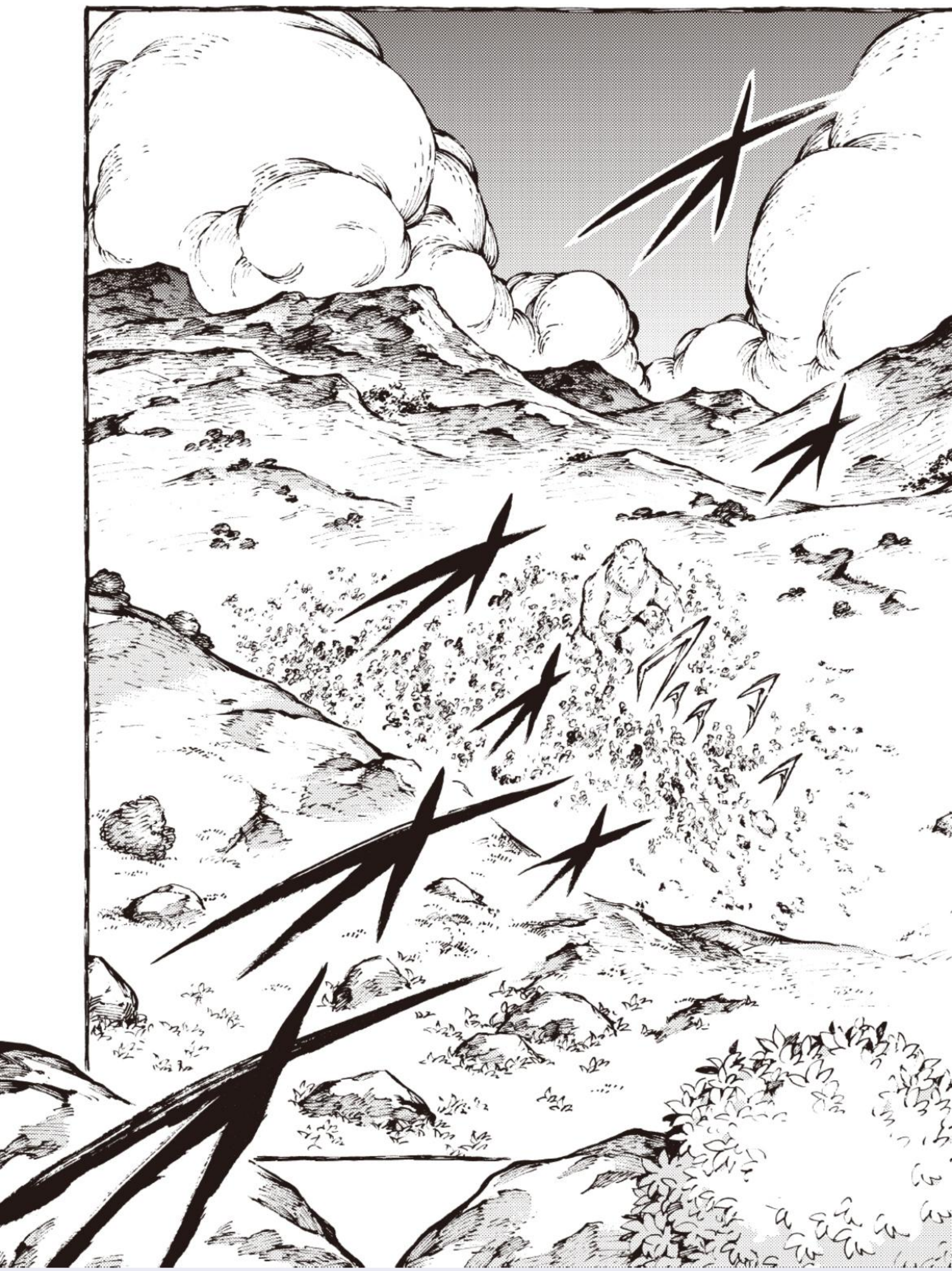








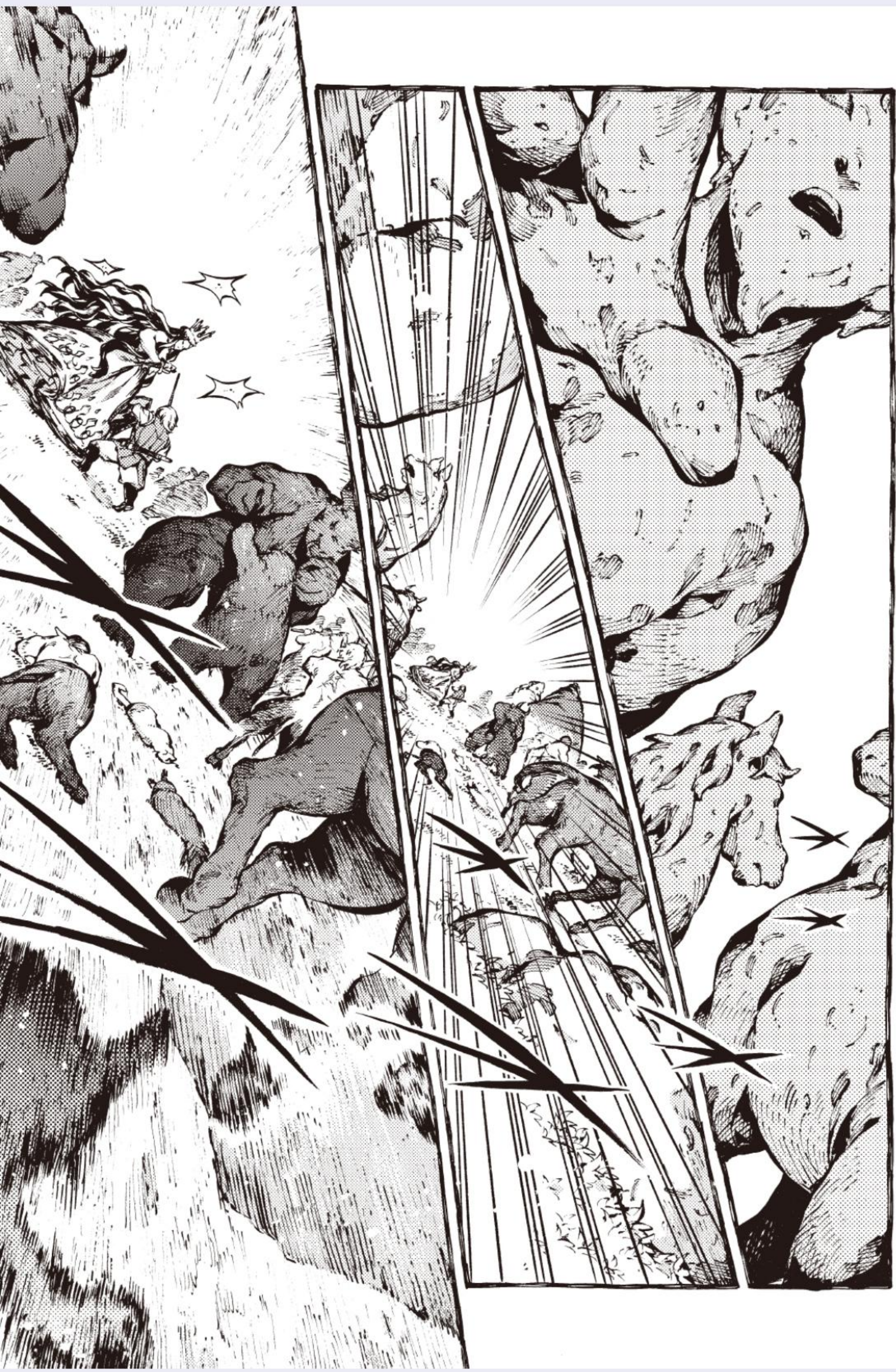




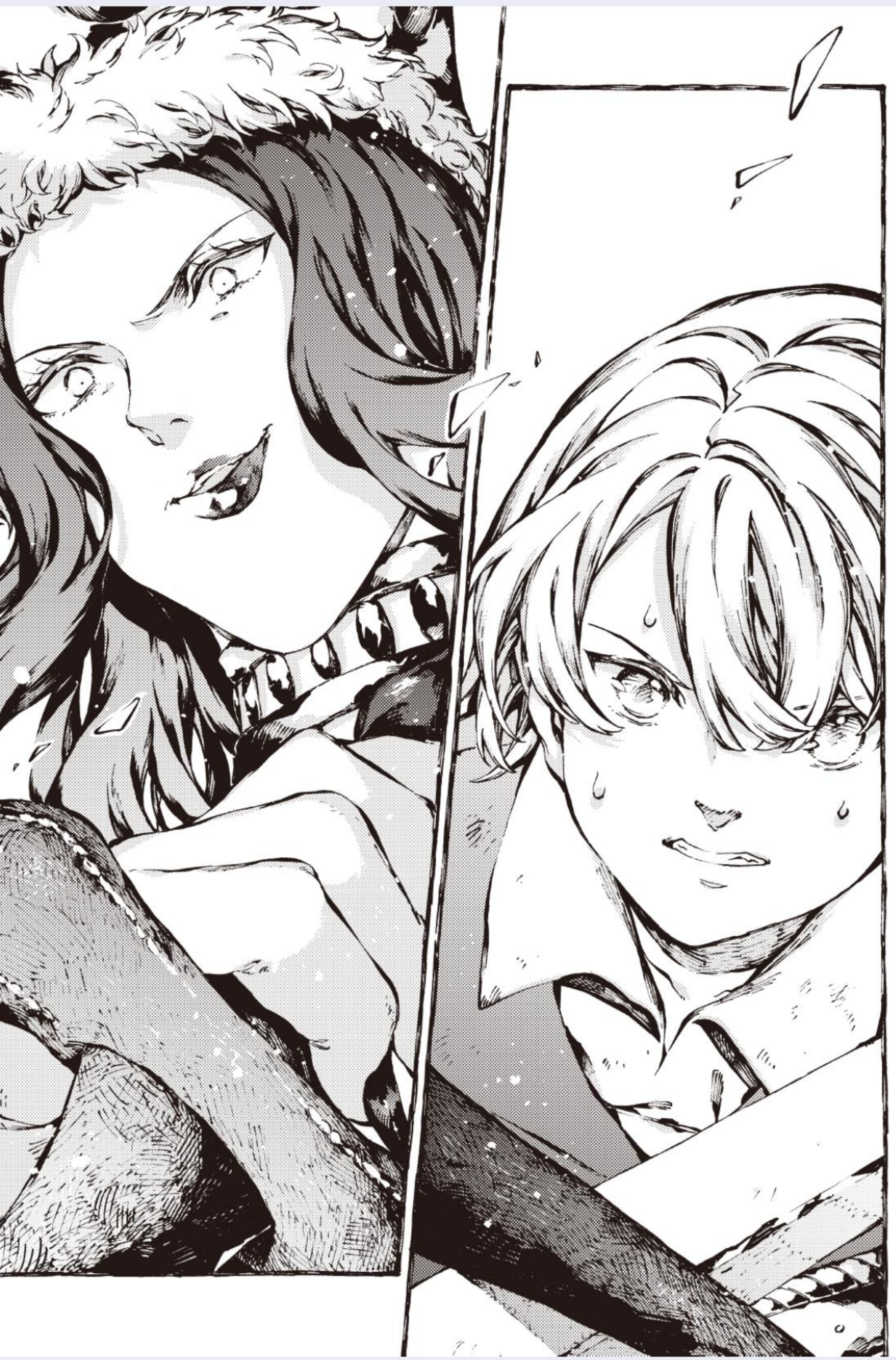


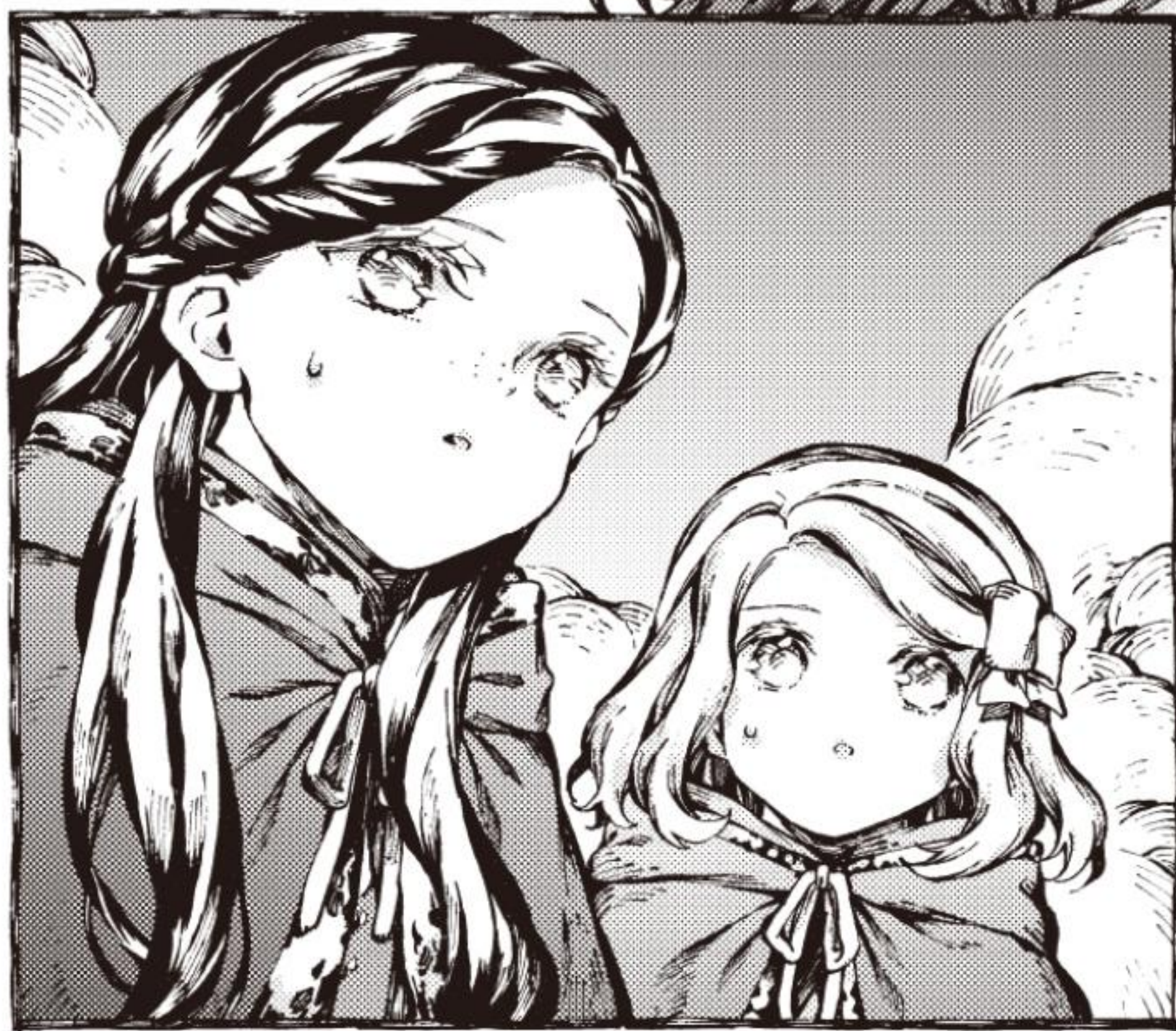








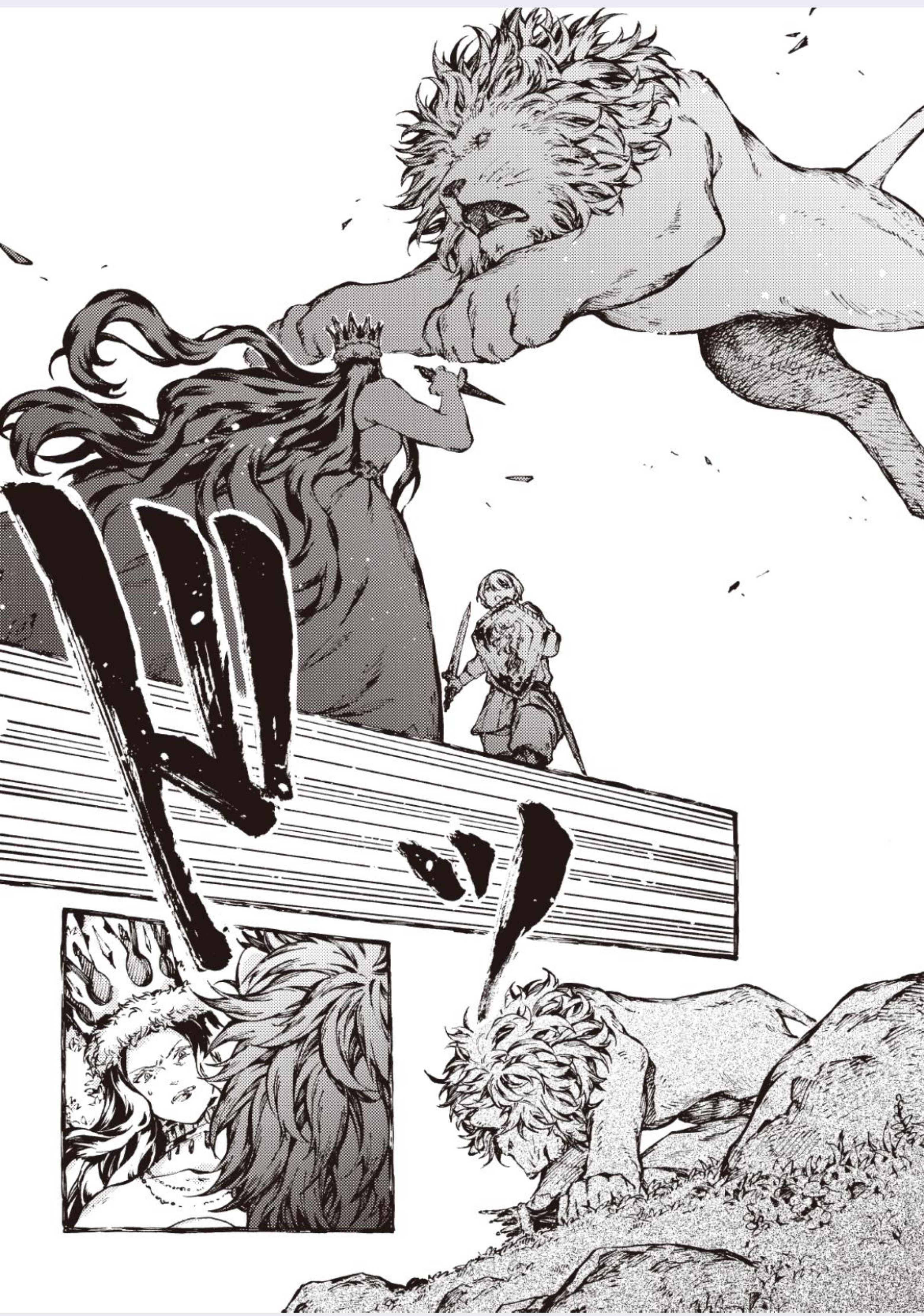




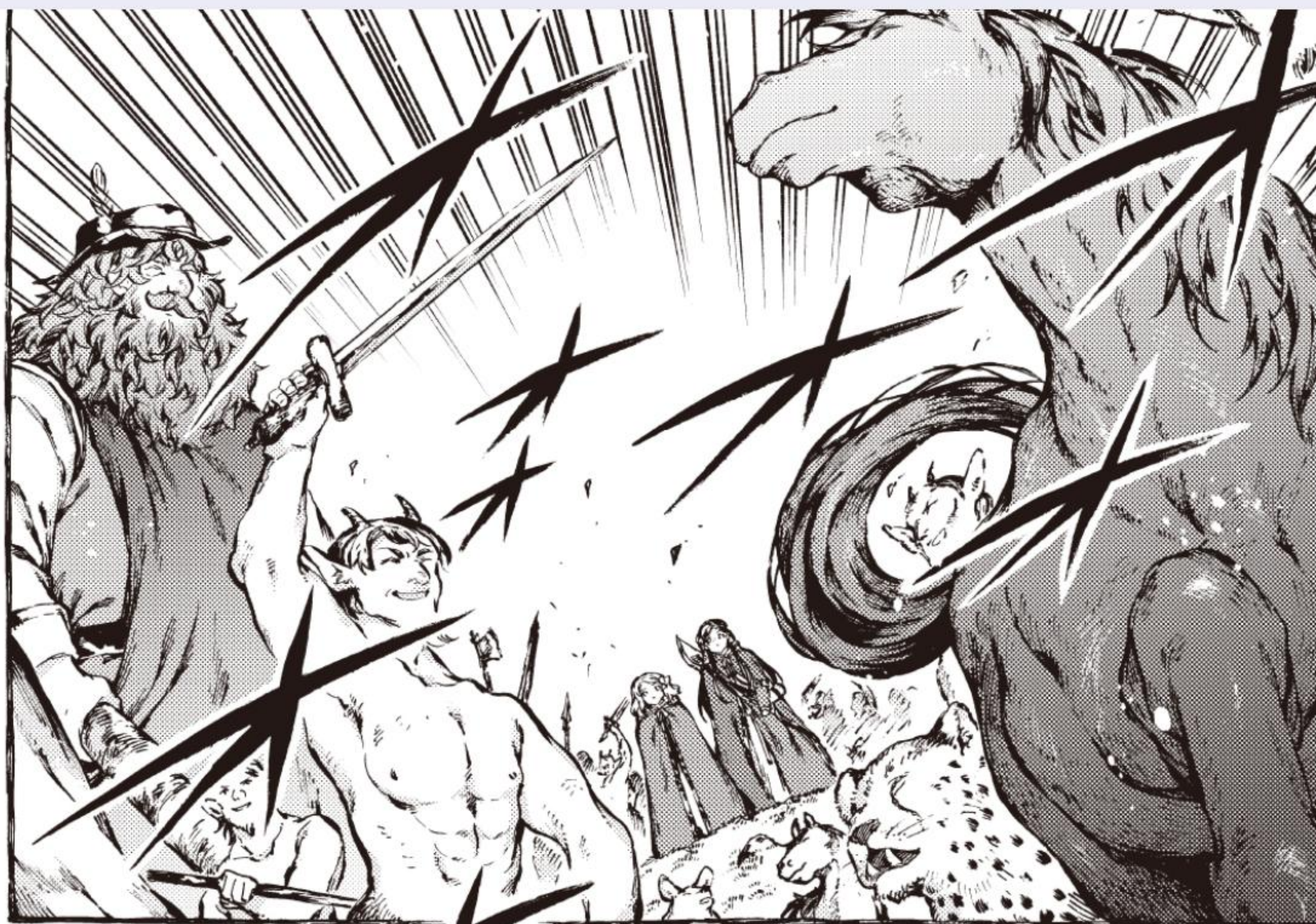
















つづく